



## かえでゆうびん 1月号

平成31年1月1日  
社会福祉法人 清松学園  
かえで保育園  
園長 引地 美津代

あけましておめでとうございます。

12月は体調のすぐれないお子様もでしたが、無事に成長発表会を終えることができました。成長発表会では、4月から「つながる」をテーマに取り組んできた保育のひとこまを、お伝えすることができました。12月に成長発表会は早いのでは？というご意見をありましたが、1月は、「いく」2月は、「にげる」3月は、「去る」といいますように年明けからの3ヶ月はあっという間に過ぎ去ってしまいます。

今年は12月に一つの大きな行事を計画しました。4月からの成長をお伝えすることは、12月も2月もそう大きく変わらず、うんどう発表会でのステップが継続して保育内容に反映できたようです。子どもたちは、がんばった達成感、見てもらえる喜びなどがぐーんと心の中に入り、それぞれの子もたちに「自信」がつかしました。成長発表会は職員にとっても子どもたちがどのように考え、何を表現したいかを見つけて、進めることも保育者としての成長にもつながります。

この大きくなる時期を12月に行い、しっかり成長した「心」を大切に、1月からゆっくりと好きなこと、やりたいことを子どもたちと共に深めていきたいと考えています。

31年度は幼保連携型こども園へと移行をし、改たな園としてスタートいたします。

保育内容は全て変わりません。入所のシステムや保育料の管理等が変更となります。かえで保育園で進めてきた保育は大切に共育での理念は変わりませんし、「子どもにとって」を大切に保育を構築していくことも大切に進めます。

ここ最近では待機児童解消といわれ始めてから保育が何故かビジネスの対象となり、保育士不足といわれると保育士の紹介会社や派遣の会社から毎日のように勧誘の電話があります。これからの保育の質はそうなるのか少し不安もでてきました。子どもに関わるこの仕事はマニュアルどおりにはいきません。「心」と「心」がふれあうことで子どもたちは安心して親以外の大人になじんでいきます。こども園となり幅広く家庭支援や共に育てるという理念を広めて地域の中心になっていきたいと考えています。

そして、子供たちが成長していく過程を家族の方と共に見守っていくことは、子育て応援隊として、こども園になっても大切にしていきたいと考えています。

1月12日(土) 10:00~12:00かえで保育園ランチルームにて説明会を行います。  
お忙しい時期ですがご参加ください。

説明会後の14時から小西貴士さんの研修も企画しています。ダンディ・タイムの方々にはお誘いしていますが、私たちの知らない自然界での出来事を素敵なトークでお話をしてくださいます。どうぞ、ご参加ください。

盛りだくさんですが、2月のかえでの楽しい日に向かって、ダンディタイムでは『ピタゴラススイッチ』の作成を考案してくださっています。子どもたちにお父さんからのプレゼントで作成していただき、かえでの楽しい日に出展していただきます。12日の16時から作成の内容決定と準備をしますので、興味のある方、是非覗いてください。

2019年

今年も保護者の方々と共に穏やかで楽しく、  
笑いの絶えない一年になりますように・・・  
イノシシのように脇目も振らず猛進せず、  
周りを見ながら取捨選択しながら進みたいですね

。ここは京都の御所近くにある「護王神社」でイノシシを祭っている神社です。一度行ってみてください。たくさんイノシシに出会えます。



## にこにこメッセージ

今年も慌ただしく年が暮れようとしています。私は自宅の大掃除の段取りをうまくできればと思いつつも、今日は天気が悪いからとか、休みに入ってからと考えていると気付けば新しい年になってしまいました。みなさんはどのような年末年始を過ごされましたか？

先日の成長発表会はいかがでしたか。恒例のアンケートではご感想やご意見をいただき励みになりました。いつもご協力頂きありがとうございます。

今年は子どもたちの生活や行事の見直しを全体で行い、他の行事も含めて日程の変更を行いました。成長発表会は「今」の子どもに合った、生活＝あそびを中心に、それぞれのクラスで成長を形にしてみました。「うまくできたか、できるか」の結果より、一人ひとりの過程を振り返りながら、少し大きくなった子どもたちの姿を見て頂けたと思います。

劇遊びは形になるまでの活動の中には、幼児クラスでは、子どもが納得するまで、「あーでもない、こーでもない」と話し合いを継続したりすることが多く、あちらこちらに子どもの思いが詰まっていました。乳児クラスでは、出番をもう少し長い時間、見たいという保護者の方の思いはあると思いますが、今の子どもにとって楽しみながら、参加できることを一番に思っている時間となりました。何気ない子どもたちの日々の成長は、毎日掲示している「今日の様子」からも読み取って頂けたらうれしく思います。これからも「子どもにとって」を大切に、一つひとつ成長していく姿を保護者の方と共有できればと思います。

今年もよろしく申し上げます。

主任保育士 藤森 寿美

## 【せんせいからのおはなしコーナー】

あけましておめでとうございます。今年はどうのような年になるのかな、と今からワクワクしています。

さて、私の今年の目標は「ギターを弾けるようになること」です。弾けてから周りの人に伝えようと思っていたのですが、まだまだ難しく曲になっていないのが現実です。アーティストの人も河田先生も簡単そうに弾いているのに、こんなに難しかったのか、と驚いています。この目標が出来たきっかけは、以前から好きなアーティストのライブに行った時のことです。そこには右腕のないギタリストが出演していました。よく見ると、義腕の上にピックを結び付けてギターを演奏されていました。そしてその人は「僕がギターを始めたのは右腕を失くしてからだ」「諦めることなんてない、いつからでも遅くない」と言いました。その言葉が妙に胸に刺さり、何かを始めたくて仕方ない！という気持ちになりました。「あのときやっていたらよかったな」は言い訳でしかない、と気付かされました。私はその言葉がきっかけでギターを始めましたが、まだまだやりたいことはたくさんあります。今年はそのやりたいことをやってみる1年にしたいと思っています。猪のように走り切ります！

谷角早紀

## ～めばえぐみ～

ねらい：「からだをたくさん動かして遊ぶ」「お友達といっしょにいることを楽しむ」

う た：「おしょうがつ・むすんでひらいて・まめまき・おてぶしてぶし」

気温が下がり、風も冷たい季節になりましたが、身体をたくさん動かして元気いっぱいです。お部屋では形や色に興味が出てきて、丸や四角の型落として遊んだり、色ごとにおもちゃを分けて遊んだりするお友達もいます。先生におもちゃを見せて「やって」とお願いすることもあり、「ここかな？」と一緒に考えながら遊びを楽しんでいます。繰り返していくことで数日経つと「ひとりでできた！」と嬉しそうに拍手をして喜び、出来たことを教えてくれています。



### “さわって なげて はって”

園庭には葉っぱやまつぼっくりが落ちていて、大切にぎゅうっと握りしめては嬉しそうに見せてくれます。時には、ぽいっと投げてコロコロと転がる様子を楽しんでいます。お部屋にその葉っぱやまつぼっくりを持ち帰り、布に貼りつけてみんなで大きなリースを作りました。上からひらひらと葉っぱを落として貼りつけたり、ふわふわの綿をちぎって貼ったりと大好きなものを散りばめた作品が出来ました。手先が器用になってきて、クレヨンでお絵かきしたり、シールをパタパタと貼ったりも楽しんでいます。

### “いろ・かたち”



春から型落としを楽しんできた中で、大きさの違い、形の違いに触れてきました。穴の大きさを確かめながら「入る」「入らない」を楽しみ、様々な「形」に気付いてきました。今では、丸・四角・三角の型落として遊ぶことが増え、形をよく見ながら入れようとしています。また、先生とのやりとりだけでなく、お友達とのやりとりも増えています。お友達が穴に入れることが出来ると Aちゃんがパチパチと拍手をし、拍手された Bくんも嬉しくて「もっともっと」と入れようとしています。しばらくすると、Aちゃんは Bくんにおもちゃを差し出して、Bくんはそれを受け取って入れるようになりました。Bくんが入れると二人で顔を見合わせて拍手をして大喜び。それが繰り返され、Aちゃんと Bくんの間に「入って嬉しい」という同じ気持ちが生まれていきました。同じ空間で同じ気持ちを持つ時間がお友達と一緒に居て楽しい、安心することにつながっているのでしょうか。

ことに繋がっていているのでしょうか。

また、プラステンという赤・青・黄色のものを棒に通していくおもちゃがあり、棒からはずしては通し、通してははずし・・・を楽しんでいます。最近では色の名前を覚えたお友達が指を差しながら「あお！」と言ったり、赤は赤ばかり、と色ごとに分けて通したりするお友達もいます。一人一人の遊びの中に「こうしたい」という思いが感じられるようになりました。

### “担任の思い”

「こうやりたい」という気持ちが強くなってきて、お友達や先生にも色々なことを教えてくれるようになりました。「できなくて悔しい」「できて嬉しい」など様々な表情がでてきています。“出来た”という喜びが次の興味につながっていければと思います。1歳になって数か月、めばえぐみもあと3か月です。お兄さん、お姉さんになってきためばえさんの成長を日々一緒に楽しみ喜びながら過ごしていきます。

谷角早紀・小坂橋円香・植木雅

## ～ふたばぐみ～

ねらい：「冬を感じながら、たくさん身体を動かして遊ぼう」

う た：「おもちゃのチャチャチャ」「おにのパンツ」「トントントントンひげじいさん」

わらべうた：「かんできわって」「オヤユビネムレ」「せんべ・せんべ」

せいちょう発表会では、子どもたちの日々の姿をご覧いただきました。当日は緊張してしまう姿もありましたが、15名全員で当日を迎えることが出来、嬉しく思います。今後も子どもたちの興味関心に寄り添い、また大好きなめだかとも共に大きく成長する様子を見守っていきたいと思います。

### ～クリスマスの飾りを作ろう～



絵本を通してクリスマスツリーや、サンタクロースに興味をもった子どもたち。11月に東三公園に行ってたくさんのだんぐりやまつぼっくりを拾ったこともあり、それらを使って制作遊びを行いました。赤、緑のフェルトに絵具をつけた後は、ボンドでだんぐりや松ぼっくりなどをくっつけていきました。ボンドの感触に「べたべたする～」と言っていた子どもたちも、すぐに「だんぐり もう1こつける!」「これもつけたい!」と夢中になって制作活動に取り組んでいましたよ。完成したのを見て「クリスマスツリー!」と大喜びの子どもたちでした。そこから園庭にある木を見ても「あ!クリスマスツリーだね」、「サンタさんは～?」とクリスマスが楽しみな様子の子もたちです。これからも、さまざまな素材を使って制作活動を楽しんでいくと共に、興味関心もより広げられるよう、子どもたちと取り組んでいきたいと思ひます。

### ～すてきな場所みつけた～

寒い時期がやってきましたが、子どもたちは毎朝元気いっぱい園庭に駆けていきます。そんな子どもたちですが、最近はお気に入りの場所を見つけたようです。そこは、、簡易砂場セットの中! めばえ組の裏に使われていない砂場セットが置いてあるのですが、そこにふたばさんが大集結しているのです。ちいさな砂場の中に大勢の子どもたちが小さくなって集まり、まるでおしくらまんじゅうをしている様です。たくさんのお友だちが集まると、「せまいよ〜」「どいて〜」と小さなトラブルも起こっていますが、最近では自分たちで詰めて「〇〇ちゃん、ここどうぞ〜」とお友だちを呼んでくれる姿も見られるようになりました。そんな仲良しなふたばさんの姿に、こちらまで微笑ましく温かい気持ちになる毎日です。これからも寒い日々が続きますが、みんなで仲良く、楽しい日々を過ごしていきたいですね。



### “担任の思い”

お友だちとの関わりが増えてきて、言葉で伝え合おうとすることもたくさん見られてくるようになりました。自分のことだけではなく、お友だちが泣いていると側に寄り添い、そっと頭を撫でてくれたり「泣いてるよ〜」と先生に教えに来てくれたりもします。そんな、お友だちの思いにも寄り添おうとしている姿に、大きな成長を感じます。ふたばでの生活も残り少なくなってきましたが、お友だちと一緒に遊ぶ楽しさや、思いを伝え合う経験をたくさん重ねていけるよう、今後も見守っていきたいと思ひます。

西口 智子・高田 奈沙・柴原 ちはる

ねらい：「友だちに自分の気持ちを言葉で伝える・気の合う友達と一緒に遊ぼうとする」

うた：「まめまき」「ゆきのペンキ屋さん」「ナコウカトボウカ」

せいちょう発表会では恥ずかしがる子もいましたが、いつものつぼみ組の元気な姿を見せることが出来良かったです。人前に出てしまうとどうしても緊張してしまったりしますがそんなのへっちゃら♪歌やわらべうたなど普段子どもたちがしている遊びを見せる事が出来、大満足です。みんなの前で何かをする時の自信に繋がってくれたら良いなと思っています。ぐんと寒くなった12月。上着を着たり体温調節を気かけながらも園庭で元気に遊びました。少し暖かい日は夏と変わらずお団子作りをしたり「まだはいりたくない」とぎりぎりまで園庭でみんなで過ごしています。

### ～どんぐり～



交通公園でたくさん拾ってきたどんぐりを使って製作をしました。まずはどんぐりの転がし絵。赤・青・黄色・緑の4色を使ってしました。どんぐりに色を付けて画用紙の上をコロコロ転がします。波のような絵が出来たり色が薄かったり濃かったり点々になったり自分で描くよりも不思議な柄が沢山出来て子どもたちも楽しんでいました。

つぎは紙コップにどんぐりやまつぼっくりなどの自然物をボンドで貼り付けました。初めてのボンドを使っての製作。「べたべたしてる」「いっぱいつけたのにくっつかないよ」と悪戦苦闘しながらも毛糸や紙を一生懸命貼り付けてすてきな作品を作っていました。



### ～マット運動～

12月から体操で前回りが増えました。今までのマット運動はおいもごろごろをしていましたが鉄棒で足抜き周りが出来るようになりもっといろんなことに挑戦したいという気持ちが大きくなったみんな。足をグーに閉じて座り、足の前に手を付いてからぐるんと回る。始めは手を付く位置や少し怖い気持ちがあったりしまし

たが、その流れを何度も繰り返したことで出来るようになり自信に繋がりが、「できるようになった!」「もっともっとしたい」と張り切っています。足で蹴って勢いよく回れる子もいれば慎重に回る子もいます。自分のペースで練習しながら体操に取り組んでいます。



### “担任の思い”

友だちと遊ぶことが増え、自分たちで考えたりままごとで役割を決めて遊ぶ姿がよく見られます。そんな中でおにごっこや簡単なルールのある遊びにも興味を持って楽しめるようになってきました。始めは先生と一緒にルールを説明しながらしていますが、何度か繰り返し行くとルールを理解し子どもたちに任せることもあります。「ここはこうだよ」「つぎは〇〇ちゃんがおにだよ」と子どもたちで声を掛け合いながら遊んでいます。まだまだ自分の気持ちを強く出したり相手の気持ちを理解できない場面もありますが、保育者が仲介に入ると言葉で伝え「ごめんね」と仲直りを出来るようになってきています。そんな子供たちの姿を見守りつつ自分のやりたいことが十分に出来る様にしていきたいと思っています。

林 千紗・星加 由美子・山本 あかね

ねらい：「ルールを守って友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる」

う た：「お正月」「うたえバンバン」

もう新しい一年が始まると思うと本当にあっという間で、幼児の部屋で過ごすことにドキドキしていた様子がつい最近のことに感じます。この一年で友達やいろんな先生との関りがとても増えたように思います。そうした関わりのなかで相手の“気持ち”を考えることができるようになってきました。“うれしい”“楽しい”“悲しい”など目には見えないけれど、今相手はどんな気持ちでいるのかな？と考え、言葉で伝えることを大切にしてきました。これから始まる新しい一年も、相手を思いやる気持ちを大切にしながら過ごしていきたいです。



### “みかんのお風呂”

寒い冬がやってきて、昼食の果物ではみかんが出てくることが多くなってきました。そんなある日、4分の1に切られたみかんの皮を破れないようにそつとめくることができたお友達がいました。その皮をみて「なんか船みたいな形。浮かばせたいな。」と話しました。そこでタライに水を入れて皮を浮かばせると、船のように浮かんだのです。それがとても嬉しかったようで、明日もできるようにと皮の船を乾かして帰りました。

次の日皮の船はパリパリになってしまっていました。しかし、「パリパリだけみかんのいい匂いがするね。」「これ、あったかいのに入れたらどうなるのかな？」という疑問が生まれました。そこで大きなタライにお湯をはって、みんなで集めたみかんの皮を浮かばせると…「いいにおい！」「みかんのお風呂だ！」と大喜びでした。それからというもの昼食にみかんが出ては皮を子どもたちが集めて回り、家で食べたみかんの皮をもってくるお友達まで…。寒い冬にはぴったりの足湯ごっこに夢中ないぶき組です。



### “みんなで助けるぞ”



園庭では寒い風が吹いても元気に走り回って遊んでいます。なかでも“トンネル鬼ごっこ”が今盛り上がっています。今まで追う、逃げる、だけのルールだった鬼ごっこが少し難しくなり、タッチされた友達を助けるには一人はトンネルを作って、もう一人はそのトンネルをくぐらなければなりません。何度も繰り返して遊ぶ事でルールも覚えて今では楽しそうに遊んでいます。

鬼にタッチされると「助けて～！！」と大きな声で友達を呼んだり、助けが必要な友達を見つくと「今助けに行くからね！！」とヒーローのように向かう姿も見られます。集中して遊んでいるので、気が付くと汗をかいて「ふう～疲れた。暑いね。」と話すほどです。寒い冬もたくさん走って元気に過ごします。



### “担任の思い”

普段気の合う友達と遊んでいても、鬼ごっこをすとなると相手が誰であろうと関係なく遊んでいます。一緒に遊んでいて安心する、一緒にいると嬉しいなど、友達との繋がりを深めることで感じて欲しいと考えています。赤ちゃんの時から一緒に過ごしてきて、ひかり組、だいち組になっても、大人になっても大切な仲間になると思うからこそ、今の繋がりを大事にして欲しいです。いぶき組として過ごすのはあと3か月しかありませんが、一緒に過ごすなかで心地よいと感じられる、みんなの居場所であって欲しいです。

林 奈津美

## ～ひかりぐみ～

ねらい：「遊びの中でお互いの思いを言葉で伝えようとする」

うた：「お正月」「ゆき」「きたかぜ小僧のかんたろう」

新しい年になり、ひかり組として過ごすのも残り3ヶ月になりました。

いぶきさん、だいちさんと水族館に出かけたこと、雨の中のお散歩や虹との出会い、夏から秋への季節の変化を葉っぱの色彩や空の色合いから感じたこと。この文を書いている今もいろんな楽しい思い出が次々と浮かんできます。だいち組になるまでの残りの1日1日を大切にしながら今しかできない、どんな事も思いっきり楽しむひかり組で過ごしてきた日々を振り返っていきたいです。そしてだいちさんへの憧れや期待を感じる事ができるように過ごしていきたいと思います。

### “できるよ！の気持ち”

昨年の冬の始まりは例年より暖かさがあり、「やっとまっかだな～♪だね」「この葉っぱ赤と黄色が混ざってるよ」と園庭の桜やカツラの葉っぱが色とりどりに色づく様子から子どもたちも冬を感じ始めているようでした。朝夕方は園庭に出る「寒い～」「もう動けない」と日が当たるところを探して座っていることが多く、身体を動かして温まろう！と始めたのが大縄跳びでした。「1. 2. 3…」と何回跳ぶことができるかみんなで数えたり「今！今！」「入る時が難しいねんな～」と縄に入り込むタイミングを眺めて入り込むのに繰り返し挑戦していました。”跳んでみたい”の気持ちは近くで見ていた子どもたちにも伝わってきたようで「せ～の…あ～あとちょっとで跳べたな」と声を掛けて応援したり、縄が回るのを並んで見ながら自然と身体を動かしている姿も見られます。「じゃあ一緒に跳んでみよ」「回してみるから入ってきて」と今では子ども達で大縄回しが始まっています。



### “最後まで伝わるかな？”

クラスで伝言ゲームをしました。ある言葉を後ろにいる子まで伝える事ができるか、2つのグループに分かれてしました。「こんな簡単やん」りんご、みかんと始めは簡単な言葉でしたが、途中から言葉が「もうすぐ雪遊びだね」と言葉から文章が変わると「あれ？もう1回教えて」と前の子に尋ねたり、思い出そうと考えていました。「このゲームゆっくり言わないと分からないね」「じゃあ次はちゃんと聞いてみるわ」と2回目からはひそひそ静かに伝えていました。子ども同士「どうしたらで相手に自分の伝えたい事が伝わるようになるか」言葉で話す機会も大切だなと感じました。



### “担任の思い”

以前から体操を含めてやってきたふれあい遊びから様々な子ども同士が関わる機会も増えてきました。鬼ごっこやままごと遊び、カードゲームを楽しみながら各遊びの場所で一緒にいる時間も長くなってきたように感じます。自分のやりたい、こうしたいと思う気持ちを表現することも多くなった分、なかなか思いが伝わらず、どう伝えればいいのか葛藤する姿も見かけるようになりました。自分の気持ちをどうして相手に気持ちを伝えるか、自分で考える機会を持ちながら子ども達と一緒に考える3か月にしていきたいです。

## ～だいちぐみ～

ねらい：「持ち物の準備や身の回りの整理整頓を自分で行う」「好きなことに向かい、表現することを楽しむ」

う た：『ちきゅうのシンフォニー』

年の瀬を迎えた頃、「だいち組になって9ヶ月、あと3ヶ月で小学生だね」と話をしました。だいちさんからは「え！」と驚きの声が上がっていましたが、本当にあっという間に3月を迎えるような気がします。

そこで、この3ヶ月でしたいこと、挑戦してみたいこと、出来る様になりたいことをそれぞれ考えてみようという提案をしています。「決めた、だいち組のみんなともう一回お泊り保育がしたい」と素敵な願いを話してくれる子もいました。大好きな仲間と過ごす保育園での3ヶ月を、より思い出でいっぱいになるように、そして生活の中で大切にしたいことをそれぞれ身に付けていけるよう、丁寧に関わっていきたいと思います。

### “ぼくたちが何とかしないと”

「だいちさん、みんな成長しましたね。とても立派でした」と他クラスの保護者の方々にも声を掛けていただいたせいちょう発表会、素敵な一日にしてくれた逞しい子どもたちの姿に改めて成長を感じました。

日々の予行の中でもだいちさんの逞しさを感じる瞬間がありましたので、ご紹介します。

せいちょう発表会を数日後に控えたある日のこと、お昼に劇あそびをしようといつも通り椅子を並べていました。この日はお休みの子がいたのですが、「Aちゃんのところも椅子置いていいよね」と14人分の椅子を並べます。劇あそびが始まると、途中で「あ、ここAちゃんのところ…」ぽつり、ぽつり、と声がきこえてきました。本番のように静かな中で行っていたので、子どもたちも話をしてはいけない雰囲気を感じ取り、小さな声でやり取りをしています。

「どうする?」「じゃあだれか代わりにする?」「じゃあ私しようか」「Bちゃん出来そう」「そうだね、そうしよう」だいちさんにとって出来る限り小さな声で、別の方法を探し出していました。

そしてAちゃんの代わりにBちゃんとCちゃん2人が役を担ってくれたのですが、最後の役どころを紹介するところで再びだいちさんにピンチが訪れます。

「2人で代わりに役をしたから…どうしよう」1人で行うはずの役を2人で行ったため、紹介の場面でどのように登場すればいいのか、悩んでいるようです。

目線を担任に向け、解決策を求めているようなだいちさんを横目に、担任は退場の曲をピアノで弾き続けてみることにしました。きっと子どもたちは“かわもと先生は今お話し出来ないか…”と考えたのだと思います。

担任に声を掛けることなく、自分たちで再び解決へと向かっていきました。

Cちゃん：「でも、Bちゃんの方が私より長い台詞だったし、Bちゃんが最後は出たらいいと思うの」

だいちさん：「そうだね、Bちゃんできる?」

Bちゃん：「うん、わかった。できるよ」

こうして、最後の紹介の場面も含め、劇あそびは止まってしまうことなく退場まで行うことが出来ました。

最後は空いている窓から退場する予定ですが、ここでも予定と異なることが起こります。

だいち組と担任だけしかいない部屋の中で劇あそびを行っていたため、窓を開けておらず、退場する場所がありません。

しかし退場の曲が鳴り始めると、ずっとアートコーナーのある奥のスペースに退場していただくだいちさん、ひっそりとした声で「みんなが入れないか、奥につめるね」と呟く声が聞こえてきました。

全員が退場し終わり暗幕を開けると…狭いスペースの中でぎゅっと集まり、話しをすることなく全員が退場を終えるのをまっているだいちさんがいました。

「みんなびっくりしたよ。困った時も自分たちで工夫して、すごいね」と声をかけると、そこで初めて自分たちで出来たことの実感がわいたようで、少し照れくさそうに笑顔を見せていました。





### “担任の思い”

「いつの間に…」と思うほど、ふとした瞬間に子どもたちの成長を感じることがありますね。いつか誰かがどうにかしてくれるだろうではなく、“ぼくたちが何とかしないと”と感じ、友だちと協力し状況を変えようと努力するだいちさんのその想いに、大きな成長を感じた出来事でした。

思えば10月のうんどう発表会、組体操では“どうしてもここの役割がいい”と自身の想いを主張したり気持ちが一つになるまでに沢山のやりとりがありました。今回の劇あそびや合奏では、自分だけでなく、14人皆で成功させたい！素敵なものにしたいという気持ちが強く感じられたように思います。

もちろん、日々の中では順番や場所の取り合いになり友だちとぶつかることもまだあります。ですが、それぞれが育んできた力を合わせ、人と助け合い生きているだいちさんの今の姿を見ていると、これからの成長が楽しみで仕方ありません。

河本 彩奈

### めばえ・ふたばからのお知らせ

- 床暖房が入ります。必要以上の厚着はしないでください。汗をかいてしまいます。
- 肌が乾燥しますので、肌着は綿を使用ください。

### つぼみ・いぶき・ひかり・だいちからの お知らせ

- 歯磨きの記名が消えてしまうことが多いので、上からテープを貼るなど、消えないよう工夫をお願い致します。
- 子どもたちが自分で掛けられるよう、上着にかける紐をつけて下さい。
- 本格的な冬になりますが、ヒートテックの下着は着ないでください

## 保護者の方からのおはなしコーナー

鉄棒が大好きな娘。  
最近は鉄棒がない場所でもブランコの柵や  
手すりなどを使って逆上がりを  
見せてくれます。

だいち組 あきさん

先日、保護者参観に行った時のことです。  
「二人組になって」と先生が言うと、息子と  
ペアになろうとしてくれる子が2人もいて、  
びっくりしました。ぼ~っとしている息子は、  
手を繋かれるがままでしたが、少し経つと、  
ペアになった子とふざけ始め、毎日楽しんで  
いるんだなと安心した瞬間でした。  
保護者参観が嬉しかったのか、1ヶ月経つ今  
でも「この前保護者参観したね！楽しかった  
ね！明日は来る？」とお話ししています。

いぶき組 えみさん

先日行われた成長発表会。娘に何をするのか聞  
いても具体的に教えてくれず発表会当日はこ  
ちらの方が緊張していました。普段は恥ずかし  
がり屋なのに劇中は大きな声でセリフを言っ  
て発表会自体を楽しんでいました。  
めばえ組、ふたば組の頃は泣く事が定番だった  
発表会でしたが、成長して人前で堂々と立てる  
姿に感心しました。弟のお世話も大好きなお姉  
ちゃん。これからの成長が楽しみです。

いぶき組 まゆさん

最近メガネをかけ始めました。  
違和感があり、本人はつけるのを嫌がって  
ますが、先生方や周りのお友達になんとか  
励まされ、しぶしぶつけています。  
自然と励ましたり出来る姿を見て、さすが  
ひかり組だなと成長を感じ子どもに助けられた  
と思いました。  
ありがとうございました。

ひかり組 まりこさん

お話が上手で歌を歌うので大好きな息子。  
帰り道はいつも「きらきらぼし」や「めだかの  
がっこう」など保育園で教えて頂いたお歌を楽  
しそうに歌いながら帰っています。  
お家では「〇〇君と遊んだ」「〇〇ちゃんと喧嘩  
した」など今日の出来事を上手にお話してくれ  
ます。

ふたば組 まさこさん

かえでで最後の成長発表会、いつもは何する  
の？と聞いても「ないしょ！」と教えてくれ  
ない息子。今回は小出しに少しずつ僕がする  
ことを教えてくれました。当日は頑張ってく  
れている姿に、親二人とも成長した姿に涙し  
ながらの時間となりました。

だいち組 よしえさん

# ☆お台所から☆

新年あけましておめでとうございます。

新しい年がスタートしましたね。2019年も「食」を通して子どもたちの健やかな健康を見守っていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い致します。

## 12月の食育活動の様子

・12月22日は冬至。1年のうち昼が一番短く、夜が一番長い日のことです。かえで保育園では19日にさわらの幽庵焼きとかぼちゃのいとこ煮をお昼ご飯に食べました。

今日のお魚はこの柚子のお汁を付け込んで焼いたんだよと見せると「柚子のいい匂いする～」柚子とお魚を交互に匂って「本当だ！一緒に匂いだ」と嬉しそうに話していました。

・かぶのクッキング。

いぶきさんが育てたかぶがたくさん収穫できたので、かぶはお昼ご飯ののっぺい汁の中に、かぶの葉は小さく刻んで炒めてふりかけにしよう！とみんなでクッキングをしました。「つるつるしてるね」「切ったらもっと美味しい匂いがしてきたあ！」ととても楽しんでしていましたよ。園庭にはまだまだたくさんのかぶがあるそうです。次はどうやって食べようか、子どもたちと相談中です。

## 1月の献立で使用する旬の食材

せり・なすな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ

1月7日のおやつに七草粥を食べて1年の無病息災を祈ります。

## 1月に予定している食育活動

・うどん作り。だいちさんが生地から手作りします。

・だいちさんの手作り味噌で鍋をする。

・旬の野菜（ちぢみほうれん草、春菊）などに触れる機会をつくれます。幼児さんはその場で茹でて少し味見してみます。





- 新年の保育は1月4日(金)からです。  
お弁当日となりますのでご用意ください。
- 12日(土)、10～12時に、こども園移行説明会を行います。保護者の方はご出席をお願いします。
- 1月16日にはだいち・ひかりで六甲山に雪遊びに行きます。詳しくはお便りを出しますので必ずよく読んでご準備下さい。

## こんなことしたよ♪

15日の成長発表会はたくさんのご参加ありがとうございました。

第1部では普段の生活や遊びをスライドや、子どもたちの発表で見て頂きました。

第2部では歌・合奏・劇を行いました。

各々のお子さまの成長を感じて頂けたことと思います。

最後には、かえでのふるさとを全員で歌うことができ感動しました。合奏のお手伝いくださった方々、ありがとうございました。



18日は移動動物園があり、ポニー・ヒツジ・ヤギ・ブタ・ウサギ・カメ・モルモット・ヘビ・ハリネズミ等たくさんの動物たちが保育園にやってきました。

お家から持ってきていただいた野菜をあげたり、撫でたり抱っこをしたり、かわいい動物たちとの触れ合いを満喫しました。

お野菜の協力ありがとうございました。



# ☆お願い☆

- 1月19日(土) 西宮私立保育協会主催の職員新年の集いのため家庭保育のご協力をお願いしています。  
又、保育は13時までとなりますのでご了承ください。
- 1月9日(水)はおもちつきがあります。  
可能な方はお手伝いをお願いします。  
ダンディタイム 9:30～12:30  
かえでカフェ 10:00～12:30  
お手伝い後にはおいしいおもちをお召し上がり下さい。今年衛生管理を考え、お手伝いの方々はエプロンとマスクをご準備ください



### 《1月の予定》

- 4日(金) 保育開始(お弁当の用意をお願いします)
- 9日(水) おもちつき大会
- 11日(金) 絵画
- 12日(土) こども園移行説明会(10時～)  
講演会(小西貴士先生)  
※保護者の方もご参加いただけます。  
ダンディタイム(16時～)
- 16日(水) 雪遊び(ひかり・だいち)
- 17日(木) 保育支援スマイル  
浜脇小学校合同避難訓練
- 22日(火) 絵画
- 28日(月) 月齢健診
- 30日(水) かえでカフェ(フラダンスの講師の方が来られます)

### 《2月の予定》

- 2日(土) たのしいかえでの日
- 5日(火) 節分の集い・豆まき
- 23日(土) 入園説明会